山鹿市民医療センター開放型病院広報紙　10月号

発行所　山鹿市民医療センター　〒861-0593　熊本県山鹿市山鹿511番地　TEL 0968-44-2185(代)　FAX 0968-44-2420

熊本市民病院研修職員の皆さま、お疲れ様でした。

平成28年4月に熊本地震が発生し、熊本市民病院が医療機能を確保するまでの一定期間ということで、同年9月より13名の看護師さんが研修派遣の形で当センターに来られました。それから3年間の月日はあっという間で、熊本市民病院が新築オープンする10月に向け、6月から8月にかけて順次帰院されました。

振り返れば、被災時より一時も休むことなく、様々なところで活動されたあとの研修派遣は、心身ともに疲れた状況ではなかったかと思います。また、自治体病院同士で、お互いの希望を確認しマッチングしたとはいえ、勤務条件やこれまでの職場環境との違いに戸惑いも多かったでしょう。そのような中で、必死に環境にも、当センターのシステム・職員にも慣れる努力をされました。反対に、研修職員を受ける私たちも初めてのことで、熊本市民病院側との打ち合わせ、各看護師長との打ち合わせを繰り返しました。混乱の中ではありますが、看護職員が不足する中、当センターに来ていただけるベテラン揃いの研修職員の皆さんは、私たちにとっては救世主のようでした。

３年（または２年４ヵ月）の間では、皆さんから学ぶことも多く、そして、一緒に悩み、怒り、笑いあった日々でした。月日とともに、すっかり山鹿市民医療センターの看護師さんになられていたのですが、８月末で全員が帰院されてしまうと、なぜか遠い過去の出来事のようにも思えてきます。熊本市民病院の再建を夢見て、目標を持ち頑張っていた皆さんの懐かしい顔が浮かびます。あの熊本地震さえなければ・・・と思うことが多いのでしょうが、地震があったことで、私たちは13名（15名）の皆さんに出会うことができました。

10月、新熊本市民病院が開院されますが、県内外33の病院で研修派遣された皆様が、それぞれの病院での経験を活かし、学ばれた数々のことを集結すれば、かつてない素晴らしい病院・看護ができるのではないかと、今から楽しみです。

熊本市民病院研修職員の皆さま、本当にお疲れ様でした。

（文責：看護部長　野中　理佳）

基本理念

地域住民の生命（いのち）と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

① 患者さま中心の信頼される医療を行います
② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

熊本市民病院研修職員の皆さまへ …… P１
部門紹介・退任あいさつ …… P２
医療最前線（117） …… P３
鹿本中学校職場体験実習 …… P４
院内研修会案内・がんサロン …… P５
日本肝臓学会医療従事者向け講座 …… P５
外来担当医表（10月） …… P６

退任挨拶

眼科

草野　雄貴　先生

朝晩はだいぶ涼しく感じられるようになりました。

早いもので山鹿市民医療センターに赴任して1年と半年が経ちます。

初めての熊本大学病院以外での勤務でしたので未熟者ゆえ当初は皆様にご迷惑をおかけしたことと存じます。この場を借りてお詫び申し上げます。

山鹿では大学とは違ったcommon diseaseを見ることが多く、また眼疾患以外の全身疾患を合併している事も多く、他科との連携の大切さや、病気だけでなく患者さんを取り巻く環境（身体的、精神的、経済的な要素など）を考慮して全人的に診る事の大切さを再認識しました。

何も特別な医療ではなく当たり前の医療を当たり前に患者さんが受けることができる、そういう環境を提供したいと思って日々の診療を行って参りました。ですがこれは簡単なことではなく、これからも日々勉強しなければならないと思っています。

山鹿では自分にできる限りのことをやって来たつもりですが、やり残した事もありますので次回赴任される先生に託したいと思います。

10月からは東京歯科大で角膜移植について学んで来ます。

熊本県では角膜移植は数年待ちで100人以上が待機されており、この現状を改善するため、新天地で学び、そして将来熊本に還元できればと思います。

最後になりましたが、1年半という短い期間ではありましたが若輩者の私を皆さん温かく受け入れてくださり本当にありがとうございました。

部門紹介　リハビリテーション科

当センターは二次救急病院であるため、リハビリテーション科においても急性期の入院患者様が中心となっており、発症後または手術後の早期から、場合によっては手術前からリハビリテーションを実施しております。

患者さまが一日でも早く社会復帰・家庭復帰等されますよう、医師・看護師・社会福祉士等と連携を図りながら治療を進めて参ります。

また、地域の病院・医院・福祉施設等とご協力させていただき、リハビリテーションの実施に努めて参ります。

リハビリテーション科スタッフ

スタッフ

理学療法士　５名
作業療法士　4名
助手　１名

施設基準

運動器リハビリテーション（Ⅰ）
廃用症候群リハビリテーション（Ⅱ）
脳血管リハビリテーション（Ⅱ）
呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）

（文責：副理学療法師長　上野　高弘）

医療最前線（117）

小児の足関節外側靱帯損傷に伴う剥離骨折への対応

整形外科
工藤　智志　先生

足関節外側靱帯損傷は広い年代で遭遇する機会の多い靱帯損傷です。小児では成人と異なり、靱帯付着部で関節軟骨を含む剥離骨折の形態をとることが多いことが指摘されています。この剥離骨片では骨性部分が少なく、時に軟骨成分のみのこともあり、単純X線では見逃される可能性が高いこと、また骨折と診断された場合でも関節内骨折であるため癒合が得られにくいとされており、偽関節となり症状が残ることもあります。治療方針については、新鮮・陳旧例ともにいくつかの見解があり、迷いながら治療を行っています。今年Fractureの改訂がありましたので、同書の見解と最近の和文の手術手技書の記載も参考に治療方針についてまとめてみました。

新鮮例への対応

・足関節捻挫では上記骨折を伴うことが多いことを念頭にｘ線所見を確認する。
・原則保存療法（3-4wのギプス固定、荷重は許可）；後に偽関節となる可能性、偽関節となっても症状のないこともあること、症状が残存した場合に手術が考慮されることを説明
・和文文献では、高いレベルでのスポーツ活動を望むもの、不安定性の強い大きな骨片が存在するときにのみ受傷時に手術的治療の説明も行うとの意見もありました。

偽関節例への対応

・初回受傷の治療後、慢性的に痛みや不安定感が続くものでは観血的治療（下記）を考慮
・初回受傷後に症状のなかった例では、再受傷時は保存的治療を第一選択とし、その後に症状の残る場合に観血的治療を考慮
・観血的治療では、骨片摘出後に残った靱帯組織を骨膜へ縫合する靱帯縫合術が第一選択とされる；骨接合術では偽関節、癒合後の再骨折、治癒期間の長さといった問題があり、推奨されていないようです。剥離骨片に付着した靱帯組織が萎縮しているものでは、伸筋支帯を用いた追加処置の追加、あるいはハムストリング腱を用いた再建術が行われます。

尚、これまでにご紹介いただいた偽関節症例の中に、距骨骨軟骨障害を合併した例を経験しています。捻挫後に痛みが消失しない時、足関節外果偽関節部のみでなく同時に考慮すべき病変と思われます。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先　〒861-0593　山鹿市山鹿511番地　山鹿市民医療センター　地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報がご覧になれます。

http://yamaga-medical-center.jp

鹿本中学校「職場体験学習」が行われました

毎年地元中学生が様々な職場において「職場体験学習」を実施しています。

当センターにおいても毎年看護部を主体に趣旨を理解し、その目的が達成できるように、できる限り協力をしております。

本年度は9月4日より6日までの3日間、薬剤科に女子１名、放射線科に女子１名が職場体験をしました。

今年の目的は①働くことの楽しさ、喜びを知る。②働くことの厳しさ、苦労を知る。③社会生活を送る上での大切なことを知る。以上3項目です。

目標は①職業や自己の適性について、現実的･具体的な知識と理解を得て見方や考え方を深める。②社会性を身につける。③地域社会を知る。④自分の将来の進路選択に役立てる。以上4項目が上げられていました。

昨年までは、放射線科は30分程の見学と説明で終了しておりましたが、診療放射線技師が活躍するドラマもあり、興味を持ってくれたのでしょうか、2日間にわたり放射線技師の仕事の体験をしました。

1日目、まずは注意事項を説明し一般撮影、透視検査（ERCP等）、マンモグラフィ撮影を見学し、トレーニングキットを装着して乳腺撮影の患者を体験してもらいました。放射線科医による画像読影の説明もありました。また、勤務３年目の女性技師による、資格を取るための進路決定のアドバイスや、女性技師としての苦労等の話から、漠然とした職業

薬剤科業務を見学する学生

放射線科撮影の説明を受ける学生

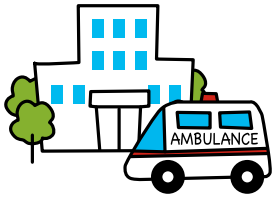
の考えがより明確になったのではと思います。２日目はCTとMRIを見学、撮影後の画像処理を説明しました。３日目は病院の部署ごとに説明が行われ最後に質問時間を設けました。

3日間の短い時間で、そして校舎外の慣れない環境で、濃い内容の医療体験をし、かなり疲れたのではないでしょうか。また見慣れない機器、それによりもたらされる画像の数々、体の不自由な患者さんの撮影など、学生にとって医療現場はどのように映ったのでしょうか。この職場体験が将来の職業選択に役立つような有意義な体験となりましたら大変うれしく思います。

中学校へ帰り、友達にも体験を伝えて貰うことで、将来医療職を選ぶ人が増えれば有難いことです。

最後に診療放射線技師の仕事をもっとわかりやすく説明する時間を取れば良かったと反省しており、来年に繋ぎたいと思いました。

（文責：副診療放射線技師長　山崎　俊直）



ご　案　内

第66回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座 1.5単位）

取得カリキュラムコード　番号・コード名
50.吐血･下血 53.腹痛 54.便通異常(下痢､便秘)

下記により第66回公開講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長　　幸村　克典
山鹿市病院事業管理者　豊永　政和

記

日時：令和元年10月11日(金) 19：00～
場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演題：「当科で施行している腹腔鏡下手術」
演者：山鹿市民医療センター
外科　赤星　慎一　先生
会費：無料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
事務部経営管理課　樋口、迎田
TEL：0968-44-2185（内線608）

キャンサーボードのご案内

当センターでは県指定のがん診療連携拠点病院として鹿本医療圏のがん診療に積極的に携わっており、消化器内科・腫瘍内科・消化器外科・放射線科・病理診断などの各科医師と、看護師、薬剤師、診療放射線技師、ソーシャルワーカーなど他職種メンバーが、がん患者の症状や治療方針について意見交換を行う「キャンサーボード」を開催しております。興味のある先生方は、是非お気軽にご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

日　時：毎月第2水曜日　17：30～18：30
場　所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
内　容：前半：看護ブレストケアチームの取り組み
副看護師長　豊福 貴子
後半：症例呈示
参加費：無　料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
医療技術部　薬剤科　柴田　佳代
TEL：0968-44-2185（内線758）

山鹿 がんサロン

第37回がんサロン開催のご案内

患者さん・ご家族同士の交流の場です
お茶を飲みながら、体調のこと、お薬のこと、日頃の不安なこと等一緒に話したり、情報交換をしませんか？
あなたの参加をお待ちしています

開催日時：令和元年10月5日（土）
10：00～11：30
場　所：山鹿市民医療センター 医療研修センター(1F)
内　容：①ハンドトリートメント（アロマ）
看護師長　原田　靖代
②交流会

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
地域医療連携室内　がん相談支援センター
担当　村上・福島
TEL：0968-44-2185

外来担当医表　10月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任　玲美	※ 猪山　慎治	※ 後藤　英介	—	※ 後藤　英介
腫瘍内科	—	—	※ 陶山　浩一	—	—
消化器内科	千代永　卓 本原　利彦	柚留木　秀人	本原　利彦	千代永　卓 柚留木　秀人	本原　利彦
内分泌・代謝内科	川崎　修二	—	川崎　修二	—	川崎　修二
循環器内科	大庭　圭介 清水　博	大庭　圭介 清水　博	清水　博 大庭　圭介	※ 海北　幸一 清水　博／大庭圭介	大庭　圭介 清水　博
整形外科 （紹介外来制）	髙木　茂 横田　秀峰 松原秀太／中西浩一朗	工藤　智志 松原　秀太 中西　浩一朗	手　術 （担当医）	髙木　茂 工藤　智志 横田　秀峰	手　術 （担当医）
外科	別府　透 佐藤　伸隆	手　術 （担当医）	別府　透 赤星　慎一	手　術 （担当医）	別府　透 木下　浩一
乳腺外科	—	※ 末田　愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 山﨑　浩藏	—	※ 非常勤医師	—
小児科	※ 石井　真美	—	※ 石井　真美 予防接種（午後）	※ 石井　真美	—
感覚センター 耳鼻咽喉科	—	※ 深見　直美	—	※ 非常勤医師	—
感覚センター 眼科	正林　耕平	正林　耕平	正林　耕平	正林　耕平	正林　耕平
産婦人科	値賀　さくら 福島　泰斗	福島　泰斗 値賀　さくら	値賀　さくら 福島　泰斗	福島　泰斗 値賀　さくら	値賀　さくら 福島　泰斗
	※片渕美和子（午後）　10/8(火)、10(木)、15(火)、24(木)、29(火)				
総合診療科	吉岡　明子	—	吉岡　明子	—	吉岡　明子
救急外来	外科　医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡　明子	大庭　圭介	吉岡　明子	外科　医(午前) 担当　医(午後)

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。
◎小児科診療時間は9:00から16:30（受付は16:00）迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。
※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来　10月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来（予約制）	佐藤　伸隆	毎週　月曜・水曜（11:00～12:00）	Bブロック
禁煙外来（予約制）	坂田　和子	毎週　月曜（午後）	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田　和子	毎週　火曜・木曜（午後）	
小児科予防接種	※ 石井　真美	毎週　水曜（受付時間13:30～15:30）	
ストーマ外来	担当医	毎月　第3水曜（午後）	Bブロック
女性外来（婦人科、思春期、更年期）	※ 片渕美和子	10/8(火)、10(木)、15(火)、24(木)、29(火)	
PEG外来	担当医	隔週　第２・４水曜（午後）	
両親学級（予約制：産婦人科）	助産師	第2･第4木曜日（13:30～15:30） ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来（予約）	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185　FAX 0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp